

14. 周産期・女性生殖器 Female Reproductive System and Perinatal Care

【1】期 間 2025. 6. 16～6. 26

【2】担当教員（◎は主責任者）

コース責任者 ◎京 哲（教授，産科婦人科学）

コース主任 周産期 皆本敏子（講師，産科婦人科学），・

不妊・内分泌 金崎春彦（准教授，周産期母子医療センター）

担当講座：産科婦人科学，病理学（病態，器官）

【3】授業の目的

女性生殖器の解剖、妊娠・分娩・産褥の生理と病態、生殖・不妊・内分泌学、婦人科腫瘍学などの女性特有の臨床医学を学び、女性の生涯にわたっての健康に幅広く、かつ深く貢献できる臨床医となるべく、産科婦人科学の学問体系を学ぶ。

【4】授業の到達目標

1. 女性生殖器の発生・分化および生殖生理を理解する。
2. 正常周産期医学の理解に必要な基礎知識（性器の解剖学，妊娠から分娩・産褥に至る生理学および内分泌学）を理解する。
3. 異常周産期医学における主要疾患の定義・原因・診断・治療を理解する。
4. 婦人科学の理解に必要な基礎知識（性器の解剖，内分泌学，不妊症学，更年期医学，腫瘍学，感染症学，婦人科手術学）を理解する。
5. 放射線治療についての基礎知識を習得する。
6. 母体保護法をはじめとする女性に関わる法律を学び，避妊法を含む家族計画について理解する。

【5】授業の進め方

コース実施期間に講義を行い，最終日に試験を実施します。

【6】キーワード

周産期，女性生殖器

SDGs：3. すべての人に健康と福祉を，4. 質の高い教育をみんなに

【7】総合評価

コース終了時に、コース内容習得確認のための対面試験を実施し、その内容や授業の質疑応答などの評価等が考慮されます。

【8】参考図書（◎は学生購入推薦図書，他は図書館に備えてあります）

- ◎ 1. 標準 産科婦人科学（第3版），望月真人，医学書院，8,200円
2. 病気がみえる9婦人科，10産科，医療情報研究所，メディックメディア，各2,940円，3,150円
- ◎ 3. ベッドサイドの婦人科疾患の診かた，星 和彦ほか，南山堂，7,600円
4. 対策産婦人科（改訂第9版），榎木 勇，金芳堂，6,600円
- ◎ 5. NEW産婦人科学（改訂第2版），矢嶋 聡ほか，南江堂，9,500円
6. プリンシプル産科婦人科学1，2，坂元正一ほか，メジカルビュー社，各13,000円
7. 臨床エビデンス産科学，婦人科学，佐藤和雄ほか，メジカルビュー社，各12,000円，13,000円